
日溜りの丘で

緋色

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日溜りの丘で

【著者名】

N2722B

【作者名】

緋色

【あらすじ】

『私』と『男の子』『女の子』の優しい話をどうぞ。

緩やかな少し小高い丘の上で、暖かな日溜りを受けて私は目を醒ます。

優しく少しだけ冷たさの残る風がとても心地良く感じられた。

今日もこの丘から見える景色はいつも通りだ。

この丘の下には小さな公園があり、親子連れや子供達がよく来る。小さなブランコに滑り台、よくある砂場に三人座るのがやつとのベンチ。小さな何処にでもある様な公園。

私はこの場所が大好きだ。

ふと…下の方から声が聞こえてきた、公園の方に目をやるとそこには今しがた来たのだろう、三人の親子が公園に入ってきた。

「二人共、喧嘩したらダメよー？」

母親が一人の子供に対して言つ。

「うん！分かつたあ！」

「ケンカしない！」

一人が元気よくそれぞれに言つ

何とも微笑ましい光景である。そして私はその親子を眺めている事にした。

母親は少々子供達の元気さを持て余したのだろう、入口近くのベンチに腰掛けて休憩する様で鞄から本を取り出して読書をしだした。

子供達は砂場で遊んでいる。一人は五歳位の男の子で活発そうな子だ。もう一人は同じ位の女の子で大人しそうな可愛いらしい子。

二人で仲良く砂のトンネルを掘っている様だ、一生懸命である。

暫くすると、男の子が飽きたのかキヨロキヨロ辺りを見回して、何かに気付いた様子でこっちをじいじと見る。

「？」

急に私の方を見たので不思議に思つた。すると、男の子は立上がり急に私の方に走つて來た。慌てて女の子も男の子を追う様に一生懸命走つて来る。

「おにいちゃん!待つて!」

女の子が言つのも聞かず男の子は私の前まで走つて来て、私の周りを遊ぶ様に走り回る。

少し小高い丘をやつとの思いで着いたと言つ表情で女の子が息を切らしていると、私の周りを走り回つてた男の子が急に転んでしまつた。

「……おににしあわん！」

慌てて女の子が駆け寄つて来る。

「う、ひぐ、痛い…痛いよ…」

男の子はさうやら膝のお皿の部分を擦り剥いた様だ。
女の子はどうしたら良いか分からない顔で、
「おににしあわん…だいじょうぶう？」

と涙を浮かべながら心配そうにしがみつきながら聞く。

「わあ～ん！痛いよ…！」

男の子が泣き出してしまつた。

私は男の子の前に座つて出来るだけ優しく頭を撫でながら、
「痛かったねえ…」

男の子が少し泣きやみ私を見る。その横の女の子も心配そうに私と
男の子を見る。

「うん、痛いよ…」

また泣いてしまいそうな顔で痛みを訴える。

「うん、痛かったね？でも君は男の子でしょ～ほら、その子も泣き

そうになつてゐるよ?」

極力私は優しい声で男の子に言つ。私に言われたその子は、ハッと
して隣で泣きそつになつて心配してくれた女の子の顔を見て、

「ひつく…ぐす…うん!大丈夫!もう痛くないよ!」

そう言つて涙を拭きながら少しふりついて立ち上がる。まだ痛むの
だろう、必死に泣くのを堪える。

「うん、良く我慢したね偉いよ。」

私は満面の笑みを浮かべてもう一度男の子を撫でた。
男の子は誇らしげな笑顔を私に返してくれた。

『頑張つた君と優しい君に』褒美をあげるね…』

私は後ろにある大きな木に触れて、溶け込んでゆく。そして…

二人の兄妹の上に薄紅色の雪を降らせた。

春の穏やかな日溜りを受けて私の華は色付きながら一人を包んだ。

「う…わあ…」

「スゴーイ!キレイ」

心配そうな顔していた女の子もすっかり笑顔が戻つた様だ。少しの
間だけ一人を包んでると、公園の方から母親が一人を呼ぶ声が聞こ
えてきた。

「ユウ~!アキ~!もう帰るわよお!」

その声に一人は

「あーお母さんが呼んでる、行かなきやー！」

「ほんとだあ！また来るねー！」

『ばいばい！またね！』

そう言つて一人元気に帰つて行く。

『うん、また会いに来てね』

私は一人に言つ。

私はいつもこの優しい口調りの降り注ぐ丘で立つて咲き続けるから

そう…

私は『桜』だから…

何年先でも良いからまた思い出したら何時でもおこで…

『また逢いに来てね』

(後書き)

表現方法が美しい書き方ですが、読んで頂いて少しでも暖かくなれた方がいたら嬉しく存じ上げます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2722b/>

日溜りの丘で

2010年12月10日06時59分発行